

第3学年2組 学級活動学習指導案

教諭 川野 康子

対話型活動との関連	「対話を学級生活の向上に生かす」対話型学級経営の考え方に基づき、対話による話し合い活動を通して、互いに考えを伝え合い、認め合い、尊重し合うことができる児童を育てる。
-----------	--

1 題材 「3年2組 パワーアップ作戦会議」

2 題材設定の理由

小学校学習指導要領解説特別活動編（平成20年8月 文部科学省）では、内容の取扱いの配慮事項において、「よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動、人間関係を形成する力を養う活動などを充実するよう工夫すること。」と述べている。話し合い活動は、学級活動の「(1)学級や学校の生活づくり」などにおいて中心となる活動であり、生活上の諸問題を話し合いで解決したり、協同的に議論して集団としての意見をまとめたり、よりよい人間関係を構築しながら生活しようとしたりする資質や態度の育成が求められている。

本学級は33名（男子17名、女子16名）で、意欲的に行事や学習に取り組むことができる学級である。男女とも仲がよく、活動では共に協力して取り組むことができる。

7月に実施したQ-Uの学級満足度尺度結果では、承認得点においての開きが見られ、学級において認められていないと感じている児童が11人いることが明らかになった。また、11月の話す・聞くについての実態調査では、授業中に自分の考えを発表することが「好きではない」「あまり好きではない」と回答した児童が9人いた。その理由は「恥ずかしい」「緊張する」などであった。これらのことから、一部の児童においては、学級の中でのびのびと自分自身を表すことができないことが分かった。3年2組の仲間で過ごすのも残り3ヶ月となった。4月に学級の目標を決めたが、目標達成に向けた具体的な実行までには至っていない。そこで、パワーアップ作戦会議と題して目標の見直しや追加をし、さらに目標達成に向けて取り組む活動について話し合うこととする。

話し合い活動では、対話型学級経営の視点から話す・聴くスキルを児童に意識させ、「折り合い」の手順を踏んで解決できるようにする。まず、ワークシートで自分の考えをまとめる。そして、話し合いの形態を個人からペア、小グループ、学級全体へと広げ、徐々に人数を増やし、発表が苦手な児童にも配慮する。さらに、対話は向かい合って行うという考え方に基づき、児童が全員の顔を見られるような座席配置の工夫をする。そして、活動の最後には振り返りの時間を設け、児童が互いに認め合う場を設定することとする。これらの活動を通して、互いに考えを伝え合い、認め合い、尊重し合うことができる児童を育てたいと考え、本題材を設定した。

3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	時間	指導助言	評価規準
話し合いの準備	4月のに決めた学級目標の改善点について話し合う。	11/20 (学級活動)	自分の考えを持ち、理由とともに発表できるようにする。	自分の考えを持ち、伝えることができる。
	3学期の目標として学級の目標を決定し、具体的な活動内容を考える。	12/14 (学級活動)	折り合いの手順を基に目標を決定し、具体的な活動内容を考えることができるようとする。	折り合いの手順を理解し、生かすことができる。
話し合い	パワーアップ作戦会議として、3学期クラスでチャレンジしたいことを話し合う。	12/16 (本時)	本時の活動に記述	
実践	学級で決めたことを実践する。	1月～	学級で決めたことを実践する。	進んで活動に参加しようとする。
振り返り	実践したことを学級で振り返る。	2/1 (学級活動)	実践したことを振り返り、児童が互いに認め合えるようにする。	実践を通して、自分自身と友だちの取り組みについて振り返ることができる。

4 本時の指導

(1) ねらい

学級生活をよりよくするために、学級の目標から具体的な活動について対話を通して話し合う。

(2) 準備 画用紙、マジックペン、掲示用マグネット、ワークシート、話し合いのガイド、話す・聞くスキルアップ

(3) 展開

活動の流れ	児童の活動	主な支援と評価（方法）
1 本時のめあてを知り、活動の内容について知る。 3年2組パワーアップ作戦会議	・ワークシートの自分の考えを確認する。	・学級をよりよくするための話し合い活動であることを意識させる。そのために、一人一人が活動に参加することが必要であることを話す。 ・多数決で決めないことを知らせる。 ・話し方、聴き方のマナーに注意して伝え合えるようにする。 評 自分の考えを伝えることができる。（観察）
2 ペアで自分の考えを伝え合う。	・考え方と理由を説明できるようとする。	・「話し合いのガイド」を参考にして話し合いを進められるようする。
3 小グループの形態で、持ち寄ったワークシートを見て話し合う。	・ペアと同様に自分の意見を理由と一緒に伝える。 ・折り合いの手順に沿って類似点を探し、違った意見には比較、修正し、一つにまとめていく。 ・まとめた考えを画用紙に書く。	・折り合いの視点を持って話し合いが円滑に進められるよう、必要な場面でアドバイスをする。 評 折り合いの視点で話し合いを進めることができる。（観察）
4 班でまとめた提案を学級で話し合う。	・各班の班長が提案を発表し、その理由を説明する。 ・折り合いの手順に沿って話し合う。	・提案のカードを児童の発表を基に動かしながらまとめていき、視覚的にも提案のまとまりを意識できるようにする。 ・話し合いの進度を見て、必要があれば小グループなど形態を変えて活動を行う。 ・活動してみて、問題があったら、再度話し合いをすることを知らせる。
5 決定事項の確認をして、ワークシートに活動の振り返りをして感想を書き、教師の話を聴く。	・話し合いでの決まったことを確認する。 ・振り返りと感想を記入する。 ・発表をする。 ・教師の話を聴く。	・個人の感想でよかつたものを学級で発表する。児童同士が対話を意識した感想発表ができるようにする。 評 自分や友だちの活動について振り返り、認め合うことができる。 ・本時の活動のよかつたところを賞賛し、自分の考えを伝えることや、互いのよさを認め合い、尊重し合うことの大切さについて話す。

(4) 事後の児童の活動と支援

- 活動終了後、決定事項を拡大掲示して、児童が常に意識できるようにする。
- 活動内容に応じて、児童が活動を振り返ることができるようなワークシートを作成したり話し合いの場を設定したりする。
- 友だちのよさを見付けたら、ヒーロー・ヒロインカードに記入し、帰りの会の紹介コーナーで伝えるように励ます。